【授業科目】看護管理学特論Ⅰ（経営管理論の系統と看護管理） Advanced Nursing Administration Ⅰ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
豊田 妙子	１年次 前　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	看護管理の基盤である経営管理論について代表的な理論を概観し、看護実践の場と関連させて理解を深める。 また、看護管理に関連する諸理論を学び、看護管理上の課題について検討する。実務家教員（豊田）がすすめる。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出された課題にコメントをつけて返却する。あるいは全体の総評コメントを学生に掲示または口頭にて伝える。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①経営管理における代表的理論家の理論の概要がわかる。 ②経営管理論の看護実践の場における活用について考えることができる。 ③看護管理上の課題について明確にすることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	授業計画に合わせて、関連する文献を事前に読んでおくこと。 提示する課題に関連する文献検索・検討を行っておくこと。 プレゼンテーション準備しておくこと。 （各回事前事後学習に４時間） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	１．経営管理論と看護管理学 ２．科学的管理論（テイラー）と組織論的管理論（バーナード） ３．ドラッカーのマネジメント論 ４．組織構造 ５．意思決定 ６．コンフリクトマネジメント ７．動機づけ、目標管理 ８．コンピテンシーマネジメント ９．組織事故とレジリエンス 10．組織変革 11．プロジェクト・マネジメント 12．看護の法的責任 13．看護情報管理 14～15．看護管理課題の検討 全て 豊田
評価方法 評価基準	授業への参加態度、プレゼンテーション、レポートなどを合わせて総合的に評価する
教科書	教科書は使用しない。
参考書等	スティーブン P. ロビンス（著），髙木 晴夫（翻訳）：新版組織行動のマネジメント―入門から実践へ, ダイヤモンド社, 2009，井部俊子監修：看護管理学習テキスト第 3 版 1～5 巻・別巻, 日本看護協会出版会　ほか、適宜紹介する